

令和7年度第2回公立沖縄北部医療センター整備協議会

議事要旨

I 日 時 令和8年3月26日(木) 15:00～17:00

II 場 所 沖縄県北部合同庁舎2階大会議室

III 参加者

会 長 沖縄県保健医療介護部長 糸数 公 (代理)

委 員 糸数保健医療介護部長(幹事長)、名護市 渡具知市長、国頭村 知花村長、
大宜味村 友寄村長、東村 當山村長、今帰仁村 久田村長、
本部町 平良町長、恩納村 長浜村長、宜野座村 當眞村長、
金武町(欠席)、伊江村(欠席)、伊平屋村 真栄田村長、
伊是名村 奥間村長、北部地区医師会 石川会長、
沖縄県病院事業局 本竹局長、琉球大学病院 鈴木病院長、
北部医療財団 大屋理事長

事務局 沖縄県保健医療介護部

山内医療介護統括監

医療政策課

當間課長、大仲室長、川添主幹、比嘉主査、上江洲主査

沖縄県北部医療組合

角田事務局長、屋比久技術総括、池原総務課長、島田総務課主査

沖縄県北部医療財団

與儀専務理事、水田総務企画課長、新崎総務企画課主査、菅野総務企画課
主任

IV 議事概要

1 協議事項

(1) 国への要請について

○ 資料1に沿って事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等があった。

ア 国庫要請により、これまでハード面で大きな成果を上げている。今後は医療人

材の確保、ソフトの部分について要請できないか。

⇒ 現在、県が厚生労働省や内閣府に対して行っている、へき地・離島への医師確保要請に、加えていく形で検討を行っていく。

○ 国への要請について、事務局案のとおり了承された。

2 報告事項

(1) 公立沖縄北部医療センター負担金検討部会の設置について

○ 資料2に沿って事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等があった。

ア 負担金の仮試算における普通交付税分について、病床数や救急告示病院分の対象はどう考えているのか。あと、特別交付税分については、その内訳が確認できないがルール通り入ってくるのか。

⇒ 普通交付税分について、公立沖縄北部医療センターが救急告示病院となれば、所在地の名護市、あるいは県とするのか部会で調整を行いたい。特別交付税分については、その内訳が確認できませんので、試算のうえ県が持つのか、または均等割り、人口割等にするのか部会において丁寧に調整を行い、決定していきたい。

イ 負担金について、北部12市町村は交付税措置の範囲内で対応し、ほかの財源をあて込まないという理解で良いか。

⇒ 沖縄県北部医療組合規約第13条の2項や北部医療機関の基本的枠組みに関する合意書第5条第3項で、北部12市町村の費用負担については、地方交付税の相当額と記述がございます。一方で、病院開院前の地方交付税措置の取扱いについてはまだ取り決めがないため、部会を開いて、総務省の意見を確認のうえ丁寧に議論していきたい。

ウ 公立久米島病院も久米島町と県というように、今回の北部と同じような状況であったかと思うが、運営費負担について情報はるか。

⇒ 公立久米島病院については、構成員が県と久米島町の二者となっている。当時は交付税という考えではなく、協定を締結のうえ、運営経費については県が

8, 町が2という取り決めを行っている。

(2) 整備の進捗について

- 資料3に沿って事務局より説明を行い、委員から特段の意見等はなかった。

(3) 令和7年度(一財)沖縄県北部医療財団の活動状況について

- 資料4に沿って事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等があった。

ア 医療従事者の確保について、職員住宅をどれだけ整備できるかが非常に大きなカギとなる。病院建物の整備状況を都度PRすることにより、病院事業局職員の意識も高まる。

イ 名桜大学看護学科や北部看護学校の卒業生で地元を離れ本土に行った方などに、Uターン希望のアンケートを行い確保につなげることはできないか。

⇒ 上記の卒業生に対して、今年度は財団から暑中見舞いという形で情報提供を行っている。

(4) 附属診療所について

- 資料5に沿って事務局より説明を行い、委員から特段の意見等はなかった。

(5) 令和8年度スケジュール(案)について

- 資料6に沿って事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等があった。

ア 財団職員の採用にあたっては、北部各市町村の広報誌を活用するなど、市町村との連携も行ってもらいたい。

【配布資料】

資料1 国への要請について

資料2 公立沖縄北部医療センター負担金検討部会の設置について

資料3 整備の進捗等について

資料4 令和7年度(一財)沖縄県北部医療財団の活動状況について

資料5 附属診療所について

資料6 令和8年度スケジュール(案)について

資料7 幹事長報告